

# 第82回 豊中まちづくり・フォーラム

## 『世界的な高名な建築家による 公共空間の破壊を検証する』



講師：吉村 元男氏 (地球ネットワーク会議代表 元鳥取環境大学教授)

- 日時：12月2日(火) 午後6時30分～
- 会場：北おおさか信用金庫 本町支店  
(旧・摂津水都信用金庫) チャオパルコ (セミナー室)  
(豊中駅人工広場隣接・豊中駅前マストメゾン1階)
- 参加費用：1,000円 ※事前にお申込み下さい



### 講師プロフィール

1937年京都生まれ  
京都大学農学部卒業  
環境事業計画研究所を設立し表取締役所長を務める。  
同所を2001年退職  
と同時に鳥取環境  
大学環境デザイン学  
科教授就任。  
2008年退職。現在  
は環境事業計画研  
究所会長及び地球  
ネットワーク会議  
代表を務める。  
作品に「万博記念  
公園自然文化園の  
基本設計・実施設  
計」で日本造園学  
会賞など

### 講演概要

世界的有名建築家が都市計画に身を染める時、**建築家の優れた芸術性の創作精神・原点を逸脱**して、権力機構にすり寄る巨大な空間尺度を都市に強要し、往々にして**反市民、反自然、文化破壊**に向かう。ル・コルビジエのパリ再開発「ヴォワザン計画」、丹下健三の「東京計画 1960」はパリと東京湾の自然と風景と歴史の文脈を破壊する案である。**両案は、企画段階で実現しなかったことは幸いだった。**

今、大阪都心のJ R操車場であった空地は、経済発展を掲げる大阪市の主導によって、企業応募の事業コンペ(審査委員長：安藤忠雄氏)の対象とされ、超高層建築群によって埋められようとしている。市民は**散策と休息の場が奪われ**、都心は災害時の**安心・安全の広域避難場所**がなくなる危険に瀕している。東京でも、2020年オリンピック開催に向けて、国立競技場の改修コンペ(審査委員長：安藤忠雄氏)が実施され、巨大な建築物が選ばれた。神宮の**長年愛されてきた風景**が大きく破壊されようとしている。**大阪・東京の両事業は、まさに破壊寸前の状況だ。**

**一方、公共破壊が進行してしまった事件がおこった。**大阪市特別顧問・安藤忠雄氏は、うめきたⅡ期の西に隣接する新梅田シティの公共庭園(空地)に、巨大な緑化壁を、水辺の散策と休息のために設けられていたベンチ、街路樹を取り除き、緑地帯を破壊して設け、その壁に「希望」という名前を付け、「これで大阪は元気になり、美しくなる」という心地の良いメッセージを掲げた。これは安藤氏の大衆への政治メッセージ「**でたらめで滑稽な大公布**」(ビッグ・イッシュウー=大口叩き)であり、**公開空地を破壊しても許されるという新手の公開空地破壊現象**である。

公共が公共を破壊する新手の巧妙な仕掛けを検証し、まともな都市設計“まちづくりの在り方”を皆様と一緒に考えたいと思う。

### まちづくり会社の

### 印刷サービスのご案内

価格表	A4/1枚	A3/1枚
カラーコピー	40円	60円
白黒コピー	7円	10円
単色印刷 (黒・赤・青)	A4/100枚 500円	

詳しくはお問い合わせください

◇お店の方の “小さな投資、効果的な宣伝で、営業力を高め、  
自店に潤いをもたらしたい!”

◇地域で活動されている方の “効果的な活動PRで仲間を増やし、  
自分とまちを元気にしたい!”

**まちづくり会社は、このような皆さんの願いを支援・実現いたします。**

豊中駅前まちづくり会社

豊中市本町1丁目12-25

TEL/FAX: 06-6858-6190 mail: Toyonaka@mail.tmconet.com

営業時間/13:00~17:30

休み/土・日・祝